

令和4年6月教育委員会会議録

【会議に付すべき事件】

- 議案第5号 後援名義使用願の承認について
議案第6号 後援名義使用願の承認について
議案第7号 後援名義使用願の承認について
報告第3号 町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について
-

【その他】

- 熊取町立学校における働き方改革の進め方
生涯学習に関するアンケート

《6月分》

- 小・中学校行事予定
生涯学習推進課【煉瓦館・公民館・総合体育館 他関係団体】事業予定
図書館【熊取図書館 他関係団体】事業予定

《4月分》

- 生涯学習推進課【煉瓦館・公民館・総合体育館 他関係団体】事業報告
図書館【熊取図書館 他関係団体】事業報告

《5月分》

- 図書館【熊取図書館 他関係団体】事業報告
-

日 時 令和4年6月10日（金）午後5時00分から
場 所 役場本館3階 議場

【教育委員会定例会出席者】

教育長	岸野 行男
教育委員（教育長職務代理者）	梶山慎一郎
教育委員	土屋 裕睦
教育委員	鈴木 直子
教育委員	一ノ瀬由美子
教育次長	阪上 敦司
理事（生涯学習・図書館担当）	原田 哲哉
学校教育課長	三原 順
学校教育課学校総務参事	伊東 浩一

ますのでご参照ください。

以上、議案第5号「後援名義使用願の承認について」のご説明とさせていただきます。

よろしくご審議いただきまして、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

岸野教育長

ただいまの事務局の説明について、ご異議、ご質問等ありませんか。よろしいでしょうか。

では、議案第5号「後援名義使用願の承認について」承認としてよろしいか。

委員全員

(「はい。」の声)

岸野教育長

議案第5号「後援名義使用願の承認について」承認とします。

次に、事前配付の議案書10ページ、議案第6号「後援名義使用願の承認について」事務局から説明願います。

松浪参事。

松浪参事

それでは、議案第6号「後援名義使用願の承認について（あなたは生き残れるか！～災害発生からの72時間～）」ご説明申し上げます。

議案書10ページをご覧ください。

令和4年5月10日付で、公益社団法人泉佐野青年会議所理事長熊野雅樹氏より、「あなたは生き残れるか！～災害発生からの72時間～」について、当委員会の後援名義使用願がありましたので、これを承認するというものでございます。

本案件は、新規の案件としてご審議をお願いするものです。

11ページ、後援承認申請書をご覧ください。

開催日、開催場所でございますが、令和4年7月31日曜日に、りんくう公園第二駐車場及びりんくう野外文化音楽堂にて開催されるものです。

事業の概要は、「あなたは生き残れるか！～災害発生からの72時間～」をテーマに、小学生及びその家族を対象とした災害時に有効な経験を得ることができる体験ブース、地域の取組や災害時に有益な知識を取得できる展示ブース、特殊車両の配置を行うというものです。

参加予定人数は1,000人、参加対象者は泉佐野市、熊取町、田尻町の小学生及びその家族で、参加者負担はなしとなっています。

4 Rの取組につきましては、ごみが出ないように取組を進めていくとのことです。

12ページから32ページまでは大会案内、組織図、予算書がございます。チラシについては、間もなく作成されるとのことです。

以上、議案第6号「後援名義使用願の承認について」ご説明とさせていただきます。

よろしくご審議いただきまして、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

岸野教育長

ただいまの事務局の説明について、ご異議、ご質問等はありませんか。

では、議案第6号「後援名義使用願の承認について」承認としてよろしいか。

委員全員

(「はい。」の声)

岸野教育長

議案第6号「後援名義使用願の承認について」承認とします。

次に、当日配付の議案書41ページ、議案第7号「後援名義使用願の承認について」事務局から説明願います。

大屋参事、お願いします。

大屋参事

それでは、議案第7号「後援名義使用願の承認について（8月度公開例会 まちを支える地元力～地域を支えるひと・しごと～）」ご説明申し上げます。

当日配付の議案書41ページをご覧ください。

令和4年6月6日付で、公益社団法人泉佐野青年会議所理事長熊野雅樹氏より「8月度公開例会まちを支える地元力～地域を支えるひと・しごと～」の開催につきまして、当委員会の後援名義使用願がありましたので、これを承認するというものでございます。

本案件は、新規の案件としてご審議をお願いするものでございます。

42ページ、後援承認申請書をご覧ください。

開催日、開催場所でございますが、令和4年（2022年）8月7日日曜日、場所はりんくう野外文化音楽堂及びりんくうアイスパークで行われるものでございます。

行事の概要につきましては、学生にこの地域内での進学、就職の選択肢を増やす機会を提供する職業体験ということになってございます。

参加対象者は、泉佐野市、熊取町、田尻町の小学生、中学生、教育機関関係者、地域事業者となっており、参加予定人数は2,000人、参加者負担はございません。

廃棄物、4R等の取組といたしましては、記載のとおり、会場に出たごみ等の持ち帰りをするという聞き取りによりお伺いしております。

事業の周知方法につきましては、SNS、チラシ配布、インターネット、テレビとなっております。

44ページをご覧ください。

この事業のチラシにつきましては現在作成中ですが、見本のほうを添付させていただいております。下部のほうに、体験ブース、企業PRブース、学校PRブースと、この3つのブースを設ける予定ということとなっております。そちらのほうで、職業どんなものがあるかというのを子どもたちに見ていただくという事業となっております。

次の45ページから54ページにかけて、予算書、青年会議所の組織図、定款等添付しておりますので、後ほどお目通しください。

以上、議案第7号「後援名義使用願の承認について」のご説明とさせていただきます。

よろしくご審議いただきまして、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

岸野教育長

ただいまの事務局の説明について、ご異議、ご質問等はありませんか。

では、議案第7号「後援名義使用願の承認について」承認としてよろしいか。

委員全員

(「はい。」の声)

岸野教育長

議案第7号「後援名義使用願の承認について」承認とします。

次に、当日配付の議案書54-1ページ、報告第3号「町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について」事務局から説明願います。

原田理事、お願いします。

原田理事

それでは、報告第3号「町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について」ご説明させていただきます。

当日配付の議案書54-1ページをご覧ください。

本件につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた次の議案について、教育委員会定例会へ議案として上程するいとまがなかったため、異議がないものとして専決処分したので報告し、承認を求めるものでございます。

内容につきましては、令和4年度熊取町一般会計補正予算（第2号）のうち、教育の事務に関する補正予算についてでございます。

なお、今回の案件につきましては、6月8日開会の熊取町議会定例会に上程したものでございます。

54-4ページをお願いいたします。

第2表 継続費補正でございます。公民館・町民会館整備事業につきましては、3月の定例会でご説明させていただきましたとおり、令和4年度で工事が完了しませんので、当初予算において令和4年度、5年度の複数年度の継続費を設定し、その年割額につきましては、事業の進捗状況を勘案して、令和4年度はおおよそ12%になります1億8,402万円、令和5年度につきましては残り88%の13億4,947万円という年割額を設定しています。この事業費につきましては、他課所管ではございますが、2分の1の補助率の国庫補助金を受けるところでございまして、この年割額に対して歳入予算が計上されています。

今回の補正内容につきましては、この国庫補助金につきまして、今年度初めに令和4年度の増額の内示をいただいたことから、その内示額に合わせ、継続費については令和4年度1億8,402万円を3億7,905万円に、令和5年度につきましては13億4,947万円を11億5,444万円に補正するものでございます。

なお、総額につきましては変更ございません。

続きまして、54-5ページ、第3表 地方債補正でございます。

3段目の公民館・町民会館整備事業、先ほどご説明いたしましたとおり、事業費につきましては、2分の1補助率の国庫補助金を受けるところですが、残りの2分の1の90%は地方債を充てさせていただいており、こちらにつきましても同様に、令和4年度の限度額1億540万円を1億9,320万円に補正するものでございます。

最後に、54-7ページをお願いいたします。

歳出科目の補正でございます。

2段目の箱囲い、事業別区分、公民館・町民会館整備事業でござい

ます。

こちらも国庫補助金の増額内示に伴い、その内示額に合わせ、測量・設計・監理等委託料につきましては416万2,000円、その下、施設整備工事費につきましては1億9,086万8,000円の増額補正を行うものでございます。

以上、簡単ではございますが、報告第3号「町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について」ご説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議いただき、ご承認賜りますようお願いいたします。

岸野教育長

ただいまの事務局の説明について、ご異議、ご質問等はありませんか。

では、報告第3号「町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について」承認としてよろしいか。

委員全員

(「はい。」の声)

岸野教育長

報告第3号「町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について」承認とします。

以上で、本日の議会に付された審議すべき議案が終了いたしました。ほかに何かございませんか。

ないようですので、審議を終了します。

(その他報告事項)

岸野教育長

続きまして、その他報告に入らせていただきます。

まず、当日配付の55ページ「熊取町立学校における働き方改革の進め方」について、就任以来、強い思いがありますので、私のほうから報告をさせていただきます。

先ず、本書作成にあたり、学習指導要領の改訂、1人1台パソコンの前倒し、コロナ禍での学習保障、ヤングケアラー等、近年、更に学校へのニーズが多様化、複雑化するなど、学校の教育環境は激しく変化しています。このような状況の中で、今までの教育を礎に、効率的、効果的に持続可能な教育を展開していくためには、学校の先生方が心身の健康を損なうことなく児童生徒と向き合う時間の確保が必要です。本書は、負担軽減を図る制度と、それを運用していく職員一人一人の意識改革、この2面を車の両輪とし、教育委員会、校長、教頭、各教

職員が、働き方改革を進めていくための「当面の取組方策」としてまとめたものです。

熊取町では、外部人材の活用、出退勤システム、留守番電話、今年度から本格稼働している校務支援システム等、これまでも多くの負担軽減策を打ってきました。しかし、令和3年度の町立学校の教職員の時間外在校等時間の実績は、小学校で1月1人当たりの平均が51.2時間、中学校で60時間。年間1人当たりでは、上限720時間を超える教職員が36%、一月当たりの平均時間数が80時間を超える教職員が20パーセント弱といった状況であり、長時間勤務の解消は喫緊の課題と改めて認識したところです。

また、文科省では、毎年のように各地公体の働き方改革の取組状況や、勤務時間の実績を調査されていますが、令和3年度の調査結果を踏まえ、令和4年1月28日付け通知にて、特に留意すべき事項が示されおられます。

町教委としては、町立学校の現状や国の通知等を踏まえ、長時間勤務の是正という観点と児童生徒と向き合う時間の確保、この2面で実現を目指す指標、目標を設定しました。長時間勤務の是正の点では、熊取町立学校の府費負担教職員の業務量の適正な管理等に関する規則に規定する上限年720時間を超える勤務の解消を。月の上限時間としては、同規則に100時間と規定していますが、労働安全衛生法では、時間外勤務が月80時間を超える場合は医師による面接指導が規定されていることを踏まえ、月80時間超えの解消をめざすもの。最終的には、同規則に規定する上限時間の原則、月45時間、年360時間を目標に掲げています。

また、単に勤務時間数を減らすだけではなく、生徒と向き合う時間をどうやって確保していくかというところで、保護者、教員の調査の中で「指導ができていくか」といった観点について、確認をしながら進めていく考えです。

具体的には、制度構築等によるもの、外部人材の活用によるもの、教育委員会事務局によるもの、校長等のマネジメントによるもの、府教委なり、国等に要請をしていくものの5つの分類に分け、それぞれの分類ごとに、実際導入済みのもの、先ほども言いました国の通知や、府の取組の中から、実現の可能性の高いもの、これから導入検討といった様々なものを主な取り組みとして例示しています。

今後、働き方改革を進めていくにあたり、毎年、教育委員会としても、学校の状況を確認、学校間で共有していくことを考えております。

教育委員会の点検評価にも、この取り組み等を掲載し、状況等を明らかにしていくことを考えています。学校現場においては、日々の業務の中で気づいたこととか、実際担当されている先生方のアイデア、意見をしっかり拾っていただき、少しでも業務改善につながるようPDCAサイクルを回しながら進めていきたいと考えています。

本書に記載する取り組みだけではなく、その時々に応じた着実な取り組みが大事と考えています。特に先ほど3年度の実績のところ、年間720超えや、月80時間超えという特に長時間勤務の職員に対し、何が原因なのか、実際、時間外の業務は何なのかと、その負担感はどうなのか、現状把握のための調査を検討しているところです。現場の先生方の負担にならない程度で聞き取りかアンケートか、何かの形で確認をし、対策を講じていかなければと考えているところです。

私のほうからは以上です。

それでは、続きの報告、お願いします。

生涯学習に関するアンケート。

大屋参事。

大屋参事 『生涯学習に関するアンケートP. 64～P. 73より説明』

岸野教育長 では、続いて、事業予定。
松浪参事。

松浪参事 『小・中学校行事予定P. 74より説明』

岸野教育長 続きまして、立石課長。

立石課長 『生涯学習推進課事業予定P. 33～P. 34より説明』

岸野教育長 続きまして、原田館長、よろしく申し上げます。

原田図書館長 『図書館事業予定P. 35～P. 36より説明』

岸野教育長 ほかに報告はありますか。以上でしょうか。
ほかに何かございませんか。
ないようですので、これで令和4年6月教育委員会定例会を閉会します。

閉会 午後 5 時 3 7 分

会議録は、教育委員会会議規則第 1 4 条の規定に基づき作成したもので、会議の顛末は
事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

熊取町教育委員会

教 育 長

署名委員